

編集後記

江戸中期の俳人、森川許六の『風俗文選』の「藪医者ノ解」によれば、“やぶ医者とは、但馬国（現兵庫県養父市）にいた名医のことで、「養父医者」は名医のブランドであったが、腕もないのに、「自分は養父医者の弟子だ」と称する医者が続出し、「養父医者」の名声は地に落ち、「藪」の字があてられ、ヘタな医者意味するようになった”といます（養父市ホームページより一部改変して引用）。

一方、国語辞典編集者の神永 暁氏によれば、“「やぶ」は「野巫（やぶ）」で、呪術で治療を行っていた者の意で、病気を治せなかったため、そのような者たちを貶めて「野巫」を「藪」「野夫」と表記して、診断・治療の下手な医者を「やぶ薬師」「やぶ医師」「やぶ医者」と嘲った”といます。室町時代の公家・中原康富の『康富記』や鎌倉時代の仏教説話集に、“藪医師”や“藪薬師”が既出していることから、ほとんどの国語辞典では、この説が有力です。『新明解国語辞典（三省堂）』では“「やぶ」は「やば」と同源で、事情に暗い意”とする説や、「藪のように見通しがきかない」医者という説も存在するといえます（japanknowledge.com 参照）。

手術の修練は手術アプローチの基本の「型」を徹底的に守ることから始まります。その確立の後に、創意工夫によってより良い新しい「型」を自分で見出すことができれば「型破り」となります。そして、両者に精通し「型」から離れて変幻自在に手術ができる境地に達すれば、術者の極致かと思います。いまだその境地に達し得ていない自分に忸怩たる思いがありますが、せめて見通しがきかない、独善的な形（型）無しにならないように、本特集を熟読し、基本に忠実にかつ謙虚に日々精進して参りたいと思います。

（内尾祐司）

令和 7 年 10 月 1 日発行

関節外科－基礎と臨床－ Journal of Joint Surgery Vol.44 10月増刊号

発行：年 14 回（年 12 回発行＋増刊号 2 回）

編集顧問 高倉義典／進藤裕幸／筒井廣明／吉矢晋一／帖佐悦男

編集主幹 高平尚伸

編集委員 岩堀裕介／内尾祐司／尾崎敏文／岡崎 賢／國吉一樹／大鳥精司／兼氏 歩／谷口 晃

発行人 吉田富生

発行 (株)メジカルビュー社

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 2-30

TEL 03-5228-2050／FAX 03-5228-2059

ホームページ <https://www.medicalview.co.jp>

email eigyo@medicalview.co.jp（営業部）

jjs@medicalview.co.jp（『関節外科』編集部）

印刷所 三報社印刷（株）／〒136-0071 東京都江東区亀戸 7-2-12

・ 本誌に掲載された著作物の複製権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、上映権、データベースへの取り込みおよび公衆送信権（送信可能化権を含む）、譲渡権等は（株）メジカルビュー社が保有します。

・ **JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, email info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

・ 本誌をコピー、スキャン、デジタルデータ化するなどの複製を無許諾で行う行為は、著作権法上での限られた例外（「私的使用のための複製」など）を除き禁じられています。大学、病院、企業などにおいて、研究活動、診察を含み業務上使用する目的で上記の行為を行うことは私的使用には該当せず違法です。また私的使用のためであっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

広告申込先：（株）文 栄 社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 宮田ビル 5 階 TEL 03-3814-8541